

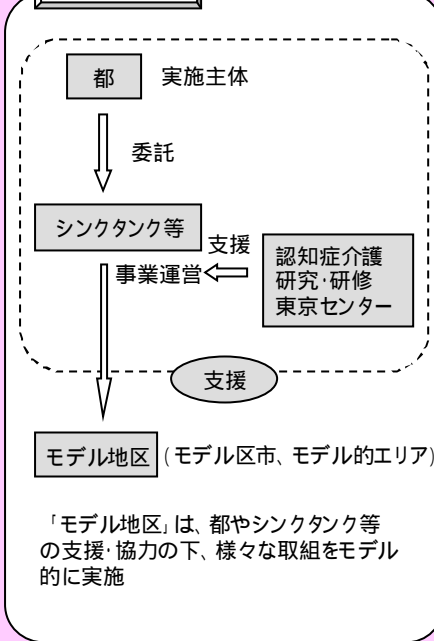
# 認知症地域資源ネットワークモデル事業

## 事業の基本的な考え方

### 事業概要

様々な社会資源が連携した認知症支援を進めるモデル地区(2地区)を設定し、都がその取組を支援することにより、当該地区の認知症支援対策を推進(2年間)、国庫補助事業として実施。

### 実施方法



## 事業展開のイメージ

### 「モデル地区」の考え方

#### 「モデル区市」

下記の要件及び区市町村の意向を踏まえて都が選定。

- ・地域における支援の仕組みづくりなど、認知症対策に本格的に取り組もうとしている区市町村
- ・急速な高齢化、独居高齢者増など、都内の他の区市町村にとっても参考となる地域特性
- ・広域移動しやすい交通インフラを有し、徘徊SOSネットワークの検証が十分に行える地域特性

・「モデル区市」は、「モデル的エリア」の取組をバックアップしつつ、これらの取組を区市の関係機関に発信

#### 「モデル的エリア」

事業の趣旨を踏まえ、モデル区市が選定。

- ・「モデル区市」に、地域包括支援センター(ランチやサブセンターを含む)を中心とする「モデル的エリア」を1箇所程度設定
- ・当該エリア内では、「認知症コーディネート委員会」を中心にして取組を重点的に実施

### モデル地区

モデル区市  
練馬区、多摩市

#### モデル的エリア

- ・練馬地域包括支援センター(豊玉南、豊玉中、中村、中村北、中村南)
- ・東部地域包括支援センター(諏訪地域(2~5丁目))

### 「モデル区市」における取組

(以下の取組を基本とし、地区の状況に応じて実施)

#### 事業のコーディネーターの配置 <モデル的エリア>

- ・地域包括支援センターを中心に、地域のケアマネや認知症対応型サービスの事業者等で構成される「認知症コーディネート委員会」の設置
- ・「モデル的エリア」における取組内容の検討や進行管理
- ・認知症ケアの経験が豊富で、在宅生活や地域との関わりに精通している人材を「コーディネーター」として配置

#### 地域資源マップの作成 <モデル的エリア>

- ・「モデル的エリア」における様々な地域資源の情報を収集・整理し、パンフレットやホームページにより地域へ周知
- ・「地域資源マップ」作成過程や個別事例へのマップの活用をきっかけとして関係者間のネットワーク構築を図るとともに、マップの効果的な活用法を普及

#### 認知症同士のネットワークづくり事業

- <モデル的エリア> エリア内における認知症の人の家族会等の活動を支援(立上げ支援・育成、介護が終わった家族も参加した介護のノウハウの共有等)
- <モデル区市> 地域で活動する家族会をネットワーク化し、介護者同士の情報交換や、認知症の人同士の交流等を通じて認知症の人や家族の生活を支援

#### 徘徊SOSネットワーク構築事業

- <モデル的エリア> 徘徊のリスクが高い高齢者を対象として、地域住民や事業者との有機的なネットワークの構築と検証
- <モデル区市> 「仕組み部会」における徘徊SOSネットワークの「全都的ルール」の策定に向けた検討と運動
- ・認知症高齢者が交通機関等を利用し、広範囲に移動した場合を想定した広域ネットワークの構築へ

## 2年間のスケジュール(案)

19年度(1年目)

20年度(2年目)

仕組  
部会

仕組  
部会

仕組  
部会

仕組  
部会

仕組  
部会

仕組  
部会

仕組  
部会

仕組  
部会

既存事業の評価、課題抽出  
20年度の本格実施にむけた準備

19年度の検証  
20年度事業の  
開始

事業の検証、21年度以降本格的なネット  
ワーク構築に向けた準備